

江波中学校スクールカウンセラーだより 6月号

スクールカウンセラー かわもと 河本 はじめ 肇

今年度のスクールカウンセラーの仕事も始まって2ヶ月近くになろうとしています。スクールカウンセラーの存在がだんだんと浸透しつつあることに感謝しつつ、毎週金曜日に活動しています。また、今年度もカウンセリング豆辞典、続けていきたいと思えます。回を重ねて33回目になりました。お読みいただいて、何かお役に立てば幸いです。

カウンセリング豆辞典 其の三十三

『生理的早産』

人間は哺乳動物のひとつですが、非常に特殊な存在です。そのひとつが妊娠期間です。高等動物の場合、赤ちゃんはお母さんと相似形であり、出産後すぐに立って自立することができます。ウマやキリン、象などを思い浮かべてもらえばよいでしょう。しかし、人間はそうではありません。母体にあと1年いればよいのですが、そうすると、脳が発達して頭が大きくなりすぎて、産道を通ることができません。そこで、1年早く外界に出て、お母さんの関わりをしっかりと受けることで成長していきます。このことを生理的早産と呼んでいます。

1年早く生まれることに、人の人たるゆえんがあるようです。感情を、情緒を、思考をふんだんにもつ存在、それが人間です。赤ちゃんは、身体の成長のみならず、おっぱいを飲ませてもらったり、オムツをかえてもらったり、あやしてもらったり、語りかけられたり、そのようなお母さんとのさまざまなふれあいを通して、精神が成長していくわけです。基本的信頼感が培われているのです。つまり、「人っていいな。お母さんっていいな。この世で一番大切な人だ」という感覚をもてるようになります。それが、その後のさまざまな人との関わり方の原動力になっていくのだと思います。

**スクールカウンセラー 6月の相談日は、
6日（金）、13日（金）、20日（金）27日（金）の4回です。**

相談の場所は、中学校第1校舎3階のカウンセリングルームです。
相談を希望される保護者の方は、中学校（232-1465あるいは
専用電話232-1468：相談日のみ）に電話でご予約下さい。